

第2章 白岡市の文化財の概要

1 文化財の概要

(1) 指定文化財の概要

白岡市には、令和2年4月現在57件の指定文化財があります。内訳は、国指定天然記念物1件、埼玉県指定有形文化財（彫刻）1件、埼玉県指定史跡1件、白岡市指定有形文化財28件、白岡市指定民俗文化財21件、白岡市指定記念物5件です。

国指定天然記念物はシラコバトです。種の指定であるため、生息範囲として含まれています。

埼玉県指定有形文化財は、興善寺の木造阿弥陀如来立像です。鎌倉時代の作で、元来関西地方で製作されたものが入間市豊岡に伝わり、縁あって興善寺に安置されました。埼玉県指定史跡は下野田の一里塚です。日光御成道沿いに設けられたもので、江戸から11番目の一里塚に当たります。東西両塚が現存する県内唯一のものです。

市指定文化財の内訳を種別に着目して概観すると、有形民俗文化財が18件と多く、一つの特徴であるといえます。比較的調査の歴史の浅い考古資料の指定が少ないことや、絵画、書籍・典籍などの指定件数も少数にとどまっており、今後の指定が望まれます。

類型別に見た市内の指定文化財

種別		国	県	市	合計		
有形文化財	建造物			3	3	3	
	美術 工 芸 品	絵画			1	1	26
		彫刻		1	6	7	
		書籍・典籍			1	1	
		古文書			6	6	
		考古資料			1	1	
	歴史資料			10	10		
小計		1	28	29	29		
民俗文化財	有形民俗			18	18	21	
	無形民俗			3	3		
	小計			21	21	21	
記念物	遺跡		1	1	2	7	
	動物、植物、地質鉱物	1		4	5		
	小計	1	1	5	7	7	
合計		1	2	54	57	57	

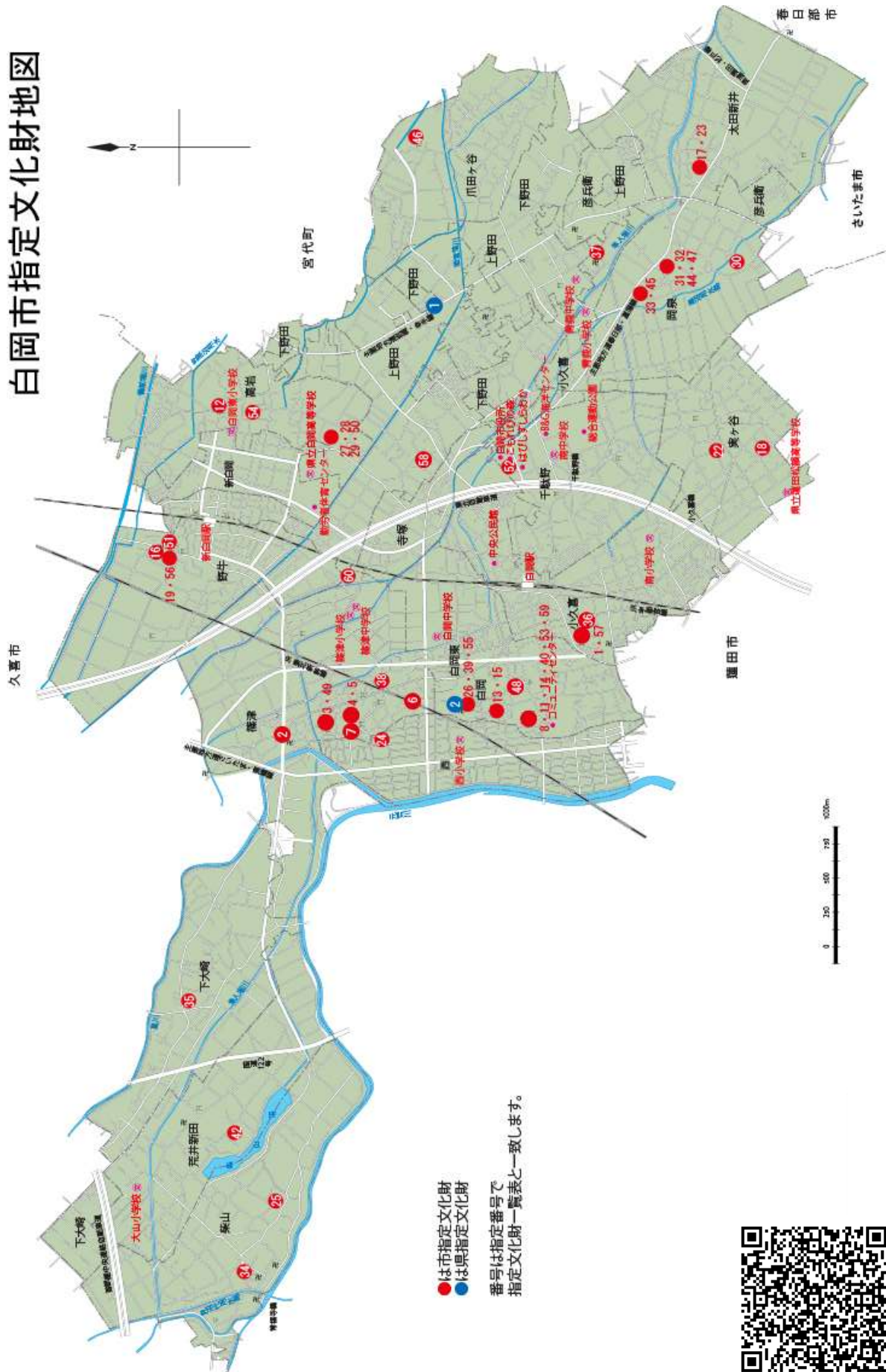
白岡市内の指定文化財一覧表

種類	名称	員数	時代	法量	指定年月日	地図番号	
市	有形(建)	篠津久伊豆神社本社殿	1棟	江戸		S50.11.1	7
市	有形(建)	忠恩寺山門	1棟	江戸	桁行 7.5m、梁間 4.25m	S55.11.1	27
市	有形(建)	庄兵衛堰柵	1基	明治(40年・1907)	間口 19.5m、長さ 19.1m	R1.3.12	60
市	有形(絵)	紙本着色新井白石画像(観福寺)	1幅	江戸	長 111cm、幅 63.5cm	S54.11.1	16
県	有形(彫)	木造阿弥陀如来立像	1躯	鎌倉	高 64.3cm	S35.3.1	②
市	有形(彫)	木造薬師如来坐像(安楽寺)	1躯	室町	高 53.0cm	S54.11.1	17
市	有形(彫)	円空作薬師如来坐像(薬師堂)	1躯	江戸	高 17.1cm	S55.11.1	22
市	有形(彫)	円空作菩薩形坐像(安楽寺)	1躯	江戸	高 11.4cm	S55.11.1	23
市	有形(彫)	円空作観音菩薩立像	1躯	江戸	高 15.6cm	S56.11.1	24
市	有形(彫)	木造大日如来坐像(大徳寺)	1躯	鎌倉	高 2.73m	S56.11.1	37
市	有形(彫)	木造達磨大師像(興善寺)	1躯	室町	高 70cm	S56.11.1	39
市	有形(書)	山岡鉄太郎墨跡(高岩天満神社)	2幅	明治(20年・1887)	長 13.6m、幅 1.2m	S53.11.1	12
市	有形(古)	大久保家文書	61点	最古 天正 5 年 (1577)		S55.11.1	21
市	有形(古)	田口家文書	133点	最古 元禄 5 年 (1692)		S55.11.1	25
市	有形(古)	興善寺朱印状	11点	最古 天正 19 年 (1591)		S55.11.1	26
市	有形(古)	忠恩寺文書	13点	最古 天文 22 年 (1553)		S55.11.1	29
市	有形(古)	澁谷家文書	750点	最古 寛文 11 年 (1671)		S55.11.1	30
市	有形(古)	鬼久保家文書	3,648点	最古 寛永 5 年 (1628)		S55.11.1	36
市	有形(考)	タタラ山遺跡出土遺物	75点	縄文時代前期		H20.6.10	52
市	有形(歴)	正福院の宝篋印塔	1基	江戸(正徳 3 年・ 1713)	高 4.3m	S53.11.1	13
市	有形(歴)	鬼窪八幡宮鰐口(白岡八幡宮)	1口	室町(康正 2 年・ 1456)	径 29cm	S53.11.1	14
市	有形(歴)	阿弥陀三尊種子板石塔婆	1基	鎌倉(正応 2 年・ 1289)	高 127cm、幅 36cm	S54.11.1	18
市	有形(歴)	白岡八幡宮棟札	8枚	最古 元禄 7 年 (1694)		S56.11.1	40
市	有形(歴)	荒井新田の高札	5枚	最古 天和 2 年 (1682)		S56.11.1	42
市	有形(歴)	朝鮮通信使奉納扁額及び下書き	各 1 面	江戸(正徳元年・ 1711)	長 84.5cm、幅 56.2cm	H14.12.6	51
市	有形(歴)	興善寺中世石造物群	8基	鎌倉、室町		H23.6.8	55
市	有形(歴)	新井白石自筆漢詩	1枚	江戸	長 19cm、幅 10.3cm	H24.9.7	56
市	有形(歴)	鷹場関係資料群	4点	江戸		R1.3.12	58

種類	名称	員数	時代	法量	指定年月日	地図番号	
市	有形(歴)	白岡八幡宮梵鐘	1口	江戸(延宝3年・1675)	高90cm、口径51cm	R1.3.12	59
市	有形民俗	篠津天王様の山車・上宿耕地	1基	江戸	幅3.24m、長3.43m	S50.11.1	2
市	有形民俗	篠津天王様の山車・横宿耕地	1基	江戸	幅2.81m、長3.24m	S50.11.1	3
市	有形民俗	篠津天王様の山車・宿耕地	1基	江戸	幅2.60m、長3.24m	S50.11.1	4
市	有形民俗	篠津天王様の山車・下宿耕地	1基	江戸		S50.11.1	5
市	有形民俗	篠津天王様の山車・神山耕地	1基	江戸	幅2.89m、長3.49m	S50.11.1	6
市	有形民俗	忠恩寺十三仏	1基	江戸(安永8年・1779)	高143cm、幅64cm	S55.11.1	28
市	有形民俗	岡泉の百庚申(岡泉観音堂)	97基	江戸(万延元年・1860)	高50cm、幅20cm(標準)	S55.11.1	33
市	有形民俗	柴山諏訪八幡神社の奉納絵馬	50面	最古 弘化元年(1844)		S55.11.1	34
市	有形民俗	下大崎住吉神社の奉納絵馬	9面	最古 元文4年(1739)		S55.11.1	35
市	有形民俗	篠津観音堂の笠付地蔵	2軀	江戸(享保13年・1728)	高229cm	S55.11.1	38
市	有形民俗	庚申待供養塔(岡泉観音堂)	1基	江戸(天和2年・1682)	高222cm	S56.11.1	45
市	有形民俗	岡泉天王様の山車	1基	明治初期	幅2.03m、長2.90m	S61.4.1	47
市	有形民俗	牛頭天王祭礼用具一式付 収納箱	1式	江戸		H3.6.5	48
市	有形民俗	篠津天王様の神輿	1基	江戸	幅165cm	H5.4.1	49
市	有形民俗	忠恩寺九品仏	10基	江戸(延宝6年・1678)		H8.3.5	50
市	有形民俗	白岡八幡宮奉納絵馬群	32面	最古 文政3年(1820)		H14.12.6	53
市	有形民俗	高岩天満神社奉納絵馬群	39面	最古 文政11年(1828)		H14.12.6	54
市	有形民俗	小久喜の獅子舞 隠居獅子頭及び天狗面	4点	江戸(18世紀後半)		R1.3.12	57
市	無形民俗	小久喜の獅子舞		文政11年(1828) 伝来という。		S50.11.1	1
市	無形民俗	岡泉鷲神社の神楽		天保年間伝来という。		S55.11.1	31
市	無形民俗	岡泉大尽囃子		天保年間伝来という。		S55.11.1	32
県	記念物(史)	一里塚	2基	江戸		S2.3.31	①
市	記念物(史)	正福院貝塚		縄文時代前期		S53.11.1	15
国	記念物(天)	シラコバト			生息地	S31.1.14	—
市	記念物(天)	白岡八幡宮のカヤ	1本		高26.8m、幹廻5.0m	S50.11.1	8
市	記念物(天)	白岡八幡宮のイヌザクラ	1本		高17.9m、幹廻3.0m	S53.11.1	11
市	記念物(天)	岡泉鷲神社の大ケヤキ	2本		高29.2m、幹廻4.4m	S56.11.1	44
市	記念物(天)	爪田ヶ谷諏訪神社の大スギ	1本		高24.1m、幹廻3.6m	S56.11.1	46

(史) … 史跡、(建) … 建造物、(絵) … 絵画、(彫) … 彫刻、(書) … 書跡・典籍・古文書、(歴) … 歴史資料、(天) … 天然記念物、(考) … 考古資料 9、10、41、43 は指定解除 19、20 は 21 に編入

白岡市指定文化財地図



(2) 埋蔵文化財の概要(一覧表:p.135~137)

市内には、令和2年4月現在、86か所の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)が確認されています。市域に人々の暮らしの痕跡が残されるようになるのは、旧石器時代後期のことです。縄文時代以降、多くの集落が作られその痕跡が遺跡として残されています。

時期別に見ると、旧石器時代の遺跡が5遺跡であるのに対し縄文時代を含む遺跡は、76遺跡あり、多くの遺跡で縄文時代の人々の暮らしの痕跡が見つかります。一方、弥生時代の遺跡は現在のところ一つも見つかっていません。古墳時代の遺跡は延べ19遺跡ありますが、前期に集中する傾向が見られることや、高塚の墳墓である「古墳」は1基も見つかっていないなどの特徴があります。その後、奈良時代の遺跡は13、平安時代の遺跡は19確認されており、中世の遺跡は27を数えます。中世の遺跡が多いことも白岡の特徴の一つといえます。

市内の時期別遺跡数一覧表

旧石器時代	縄文時代						弥生時代	古墳時代			奈良時代	平安時代	中世
	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期		前期	中期	後期			
5	3	19	22	56	43	11	0	16	1	2	13	19	27

*多くの遺跡で複数の時期の生活の痕跡が残されています。このような遺跡を複合遺跡といいます。このため、遺跡数の合計は、86を大きく上回ることになります。

市域で最も多くの遺跡が形成される縄文時代の代表的な遺跡をいくつか概観しましょう。

まず、縄文時代前期初頭のタタラ山遺跡の様子を紹介します。約6,000年前の拠点となる集落遺跡で、現在の元荒川の形成した谷を足下に臨む台地上に展開しています。これまでの発掘調査で、70軒にのぼる住居跡が見つっています。東海地方や東北地方からもたらされた土器や石器も出土しており、川筋を使った盛んな交流交易の様子をうかがうことができます。豊富な出土品の中には、石で作った耳飾りやペンダントが60点近くあり注目されます。特に、鳥や動物をかたどったと思われるペンダントは秀逸です。出土品の一部は市指定文化財にも指定されています。

縄文中期から晩期にかけての大集落に清左衛門遺跡があります。これまでに100軒を超える住居跡が見つかり、縄文時代中期から晩期にかけて少しずつ場所を変えながら長期間にわたって集落が営まれ続けた、市内を代表する縄文時代の遺跡の一つということができます。特に後期の後半から晩期の前半にかけての時期は、「大日沼の谷」に面して木組みの水場遺構を作り、トチやクルミ、クリなどを加工したと思われる痕跡が残されています。

また、台地上に残された土坑内貝塚からは、ニホンジカやイノシシなどの獣骨やイヌの犬歯で作ったペンダントなどの装身具も出土しています。水場遺構周辺で採取した土壌や貝塚内の堆積物などを分析することで、周辺の当時の植生や魚介類の生息環境などを知ることができました。



清左衛門遺跡1号水場遺構

(3) 未指定文化財の概要

未指定の文化財については、後述する既往の調査によって把握しているものです。その多くは、昭和 56 年度から平成 4 年度まで実施した白岡町史（当時）編さん事業の成果や埼玉県あるいは、埼玉葛地区文化財担当者会（昭和 60 年発足・現埼玉県東部地区文化財担当者会）などが実施した広域調査の成果によるもので、23,222 件（令和 2 年 12 月現在）を数えます。

また、有形民俗文化財の生産生業用具や生活用具、有形文化財の古文書などについては、前述の調査以降、市民の皆さんからのご連絡を受け、蔵や納屋の解体などに先立つ緊急調査でご寄贈、ご寄託を受けた資料を含みます。

把握している未指定文化財

種 別		数量	摘要	
有形文化財	建造物	27		
	美術 工芸 品	絵 画	1	
		彫 刻	57	
		工芸品	31	
		書籍・典籍	1	
		古文書	15,134	諸家文書資料等
		考古資料	1,229	出土資料コンテナ換算
		石造物	1,009	悉皆調査終了
		歴史資料	7	
小 計		17,496		
民俗文化財	有 形 民 俗	生産生業用具	2,800	
		生活用具	1,500	
		衣 類	200	
		その他	500	
	無 形 民 俗	芸 能	2	
		祭礼・年中行事	313	
		伝説・民間知識	320	
		その他	4	食生活他
小 計		5,639		
記念物	遺 跡	86		
	動物、植物、地質鉱物	1	ひこべえの森	
	小 計	87		
合 計		23,222		

① 有形文化財

有形文化財のうち、建造物については悉皆調査が行われていません。把握している建造物としては、上野田、爪田ケ谷の名主家の長屋門や岡泉の個人宅内にある昭和初期の製茶工場の建物などが挙げられます。また、昭和 12 年建築の大山小学校旧校舎や大山地区に多く残る水塚

の上に立てられた「クラ」と呼ばれる建物は、水防建築という視点で地域的特色を反映した建物といえます。

彫刻、工芸品等についても悉皆調査が行われておらず、把握できている資料数が限られています。寺社の仏像、神像や金石文の調査対象として抽出していた梵鐘、半鐘等について把握しています。

古文書については、市内の諸家に残されてきた文書群で、64家15,000点余りについて把握しています。

考古資料については、発掘調査によって得られた資料のうち、整理の付いているもの1,200箱余りを保管しているほか、市内の個人所蔵資料24件についても把握しています。

石造物については、悉皆調査を終えています。板石塔婆や宝篋印塔、五輪塔などの中世石造物については残欠を含みます。近世以降の資料として数が多いのは、地藏88、庚申塔80、筆子塔67、馬頭観音61などです。

② 有形民俗文化財

昭和56年から平成29年まで、旧大山小学校の校舎の一部を改装した「大山民俗資料館」が設置されており、生産業用具や生活用具の収集保管を行ってきました。現在その機能は生涯学習センター歴史資料展示室が引き継いでいます。農耕具を主とした生産業用具約2,800点、食器などの生活用具1,500点、衣類200点その他の資料500点など約5,000点を収蔵しています。

③ 無形民俗文化財

未指定の無形民俗文化財のうち、芸能として把握しているものは、祭り囃子2件です。「篠津天王様」に係るものと、柴山の天王様に係るものです。

祭礼・年中行事については、埼玉県東部地区文化財担当者会が主体となって実施した「埼玉のまつり・行事」調査（平成9年～11年実施）の結果では、調査時点ですで行われなくなっていた行事を含め、内容のわかる聞き取りができた行事は、市内で313例を数えました。

伝説や民間知識として把握しているものは、昔ばなしや世間話約60、伝説約20のほか、遊び唄30、民間知識・民間療法約150、俗信・禁忌約60などを採集しました。この中には、すでに廃された寺社や人物にまつわるものや近隣市町との往来に関すること、天候や作付け時期、健康に関することなど様々な知恵と知識が詰め込まれていました。

その他とした中には、冠婚葬祭などの人生儀礼や、食生活、相互扶助などの社会生活、遊びなどが含まれます。

④ 記念物

記念物のうち、遺跡については、埋蔵文化財の項で述べたとおり、86か所の遺跡を把握しています。

動植物、地質、鉱物について保存すべきものとして「ひこべえの森」が挙げられます。ひこべえの森は、第1章の生態系の項目で述べたとおり1ha余りの平地林で、多くの動植物の生息する環境として重要です。歴史的に見ても『武蔵国郡村誌』の中で「上下小笠原林・民有に属す。（後略）」と述べられ、古くから維持されてきたものであることがわかります。特に、シュンランやカラタチバナなどの絶滅危惧種を含む林床植物群落は大切にしたいものです。